



特集

移住者が語る喜茂別町の魅力 〈移住者インタビュー〉



2年生 学年企画

喜中祭～Beyond～

9月30日に喜茂別中学校で喜中祭が開催され、各学年の企画発表や音楽部門、制作部門の発表や、全校合唱なども行われました。2年生の企画発表では、ミュージックビデオの中の人々がスクリーンから飛び出て、実際にステージに現れる演出に驚かされました。生徒たちによる元気いっぱいのダンスステージでは、会場から大きな声援や拍手が送られていました。



町イメージキャラクター
ウサパラくん

移住者が語る喜茂別町の魅力

<移住者インタビュー>



国全体での人口減少が問題となっており、喜茂別町でも人口は減少傾向にあります。しかし、その中でも喜茂別町に魅力を感じて移り住む方もいます。今月号では、比較的最近喜茂別へ移住した方にインタビューを行いました。

札幌や東京での移住関連イベントやウェブサイトで経由での移住相談などを受けているなかで、最近「移住」が多様化しているそうです。例えば、期間限定での移住や、昨今言われる「関係人口」として喜茂別町に「住む」こと以外で関わりを持つことを希望する方も増えているそうです。

また移住相談で困ることは「紹介できる住居がない」「ことだそうで、移住したくても住む場所がなく断念するケースも増えているそうです。最近では、自分で空き家を改修して住みたいというニーズも増えていますので、町内で空き家をお持ちの方は『きもべつ空き家バンク』に登録していただけたら移住の促進につながるのではないかと、今後の喜茂別町への前向きなご意見も頂きました。

移住相談は「多様化」し、「住む」こと以外の選択肢も

町の「移住相談窓口」として日々移住希望者の相談を受けている加藤さんは、約6年前に「地域おこし協力隊制度」を活用し、移住した経験をお持ちです。

かとうともひこ 加藤朝彦さん



札幌市ご出身のお二人は、以前は留寿都村にお住まいでした。引っ越しを検討しているときに、たまたま喜茂別町の方に紹介されたのが現在のご自宅で、「内見して即決した」というくらい良い出会いだっただけです。

引っ越しの日に、知人がトラックを出してくれたり、引っ越し祝いに地域の方も集まり、段ボールだらけの新居で鉄板焼きをしたことはとても印象に残っているそうです。

知也さんから、「移住してすぐに夏まつりや神社祭りに誘ってくれたことで、地域の方と知り合う事ができ感謝している」と話されました。

自宅の購入を機に喜茂別町へ

令和4年2月に鈴川地区に移住した上村さんご夫妻。今年、双子のお子様たちが生まれ、現在は4人と猫1匹の家族になりました。

うえむら 上村さんご家族

ともや 知也さん、ともよ 知世さん、あんな 杏奈ちゃん、いまいま 唯真ちゃん、モイクン(猫)



思ったほど不便ではなかった

移住して驚いたのは、宅配サービスが札幌と変わらず早く届くことだったそう。また他の市町村と程よい距離感なのでどこに行くのもさほど時間がかからない点も魅力の一つです。また、住んで感じることは地域の方々が優しいことで、例えば、お裾分けで野菜や「おかず」も頂くこともあり非常にありがたいといえます。知也さんからは「喜茂別町の魅力は人である」と語ってくれました。

子育て環境

現在0歳の双子の子育てをしているお二人ですが、「喜茂別町子育て支援センター」には非常に助けられているそうです。他の地域の支援センターも利用した事があるそうですが、「喜茂別町子育て支援センターでは指導員の方々が子供に積極的に関わって下さるので、本当に最高です」と感想を語ってくれました。

「ただ利用できる曜日は限られているので、他にも末就学児を遊ばせる場所があれば子育て世代はうれしいのではないかとのご意見も頂きました。」



【お問い合わせ先】 まちづくり振興課まちづくり係 電話:33-2211

おおひら 大平ヒューバートさん



香港出身のヒューバートさん。現在は日本に帰化し、大町の自宅兼宿泊施設(THE LOBS)で奥様、ワゴンちゃんと暮らしています。

まさに「ご縁」のつながり

香港で働いているときから毎年北海道でウインタースポーツを楽しんでいたヒューバートさんですが、退職を機に母親のいる日本へきました。

最高の雪質を求め北海道で住み込みで働いた際にたまたま喜茂別町の方と知り合い、その喜茂別町の知人宅で一年を過ごしました。いよいよ知人宅を出なければいけなくなり家探しをしました。不動産会社に問い合わせても物件はなく、町内の何十軒ものお宅に家を探している旨の手紙を出しているときに見つけたのが、現在のご自宅だそうです。手紙を入れたところ、当時の持ち主の方が親切で、すぐに購入を決めたそうです。ご縁がきっかけで今があるとのことヒューバートさんは振り返ります。

成り行きで宿泊施設に

家を購入したのは良いが、夫婦2人で住むにはとても広すぎる家だったそうです。そこで、購入後に宿泊施設にすることに決めたとのことです。改装では奥様とお2人で壁や天井を剥がす作業をして約1か月かかったそうです。

また除雪機を購入する際は知人から15馬力をすすめられたが、「大は小を兼ねる」と、31馬力を購入したところ、雪が飛びすぎるし、狭いところは除雪できないので、今年は小さいものを買って替えることにしたそうです。ただヒューバートさんは「勉強させてもらった」と非常に前向きです。

人生の第2章

ご自身で喜茂別町での生活を「人生の第2章」と位置づけています。

大好きなウインタースポーツも、「いつかはできなくなる」と感じているので、仕事とプライベートのバランスを大切にしたいと言います。

喜茂別町で暮らして3日に1回はアスパラを頂くが、自分の食べる分はあるのって心配になるくらい良いんだねってのよ。喜茂別町で暮らしていくからには、地域の為に貢献したい気持ちもあり、「地域の方と交流し何ができるか考えていきたい」と話されました。

ピートさん Tupper Peter David



コロナ禍に海外から移住し現在、大町で暮らしています。

移住のキッカケは「雪」

イギリス出身のピートさんは、大学を卒業後に中国の北京で「MAGINE」を立ち上げ、アウトドア関連の事業を8年間行っていました。MAGINEは日本語で「想像」を意味し、ただの山や川や森も、想像すれば楽しいアドベンチャーがたくさんできる。という意味を込めて名づけられました。様々な国でスキーやスノーボードのガイドをしました。が、「北海道の雪質は世界1だ」と感じて、移住を決意したそうです。

喜茂別町を選んだ理由は「グールマップで選んだ」と笑いながら話してくれたピートさん。「実は、ルスツやニセコといったスノーリゾートの中間地点で空港からも近く利便性が高い上に家賃も抑えられているので自分のビジネス

スの上でも都合がよかった」と非常に現実的な理由も教えてくれました。

人のやさしさに救われた

移住して最初の冬は友人宅で過ごし、その際に現在の住居兼シェアハウスの物件を見つけ即購入しました。「最初はテーブルもなかった」そうですが、町の方が「喜茂別町新規就業促進事業補助金」という新たに起業する人を補助する制度があると教えてくれて、シェアハウスへ改装することができたとのこと。雪国に住むのも初めてだったため、最初は除雪に毎日3時間程度かかっていたそうです。そのうち友人がトラクターで排雪してくれたり、近所の方も協力してくれるようになり、今では非常に楽になったそうです。インタビューの最後には「除雪の件はもちろん、最近には神社の御神輿に誘ってくれたり、野菜をお裾分けしてくれたり、喜茂別町の人はとても温かい。ありがとと伝えたい」と感謝の気持ちで語ってくれました。



KIMOBETSU= BEST TOWN IN HOKKAIDO (喜茂別は北海道で一番の町)

今回のインタビューで皆さん共通して「人のやさしさ・温かさ」を喜茂別町の魅力として挙げていることが印象的です。喜茂別町民の皆様は移住者や変化に寛容な方が多いことが伺えますし、喜茂別町の自慢できるところでもあると考えます。また、喜茂別町としても今回のテーマである「移住定住」を促す制度作りに力を入れています。例えば、都市からの移住を促す「地域おこし協力隊」や、新しく起業する方を補助する「喜茂別町新規就業促進事業」などですが、インタビューで実際に活用したお話しも伺えました。そのほかにもUIJターンを促す制度や、奨学金の返還の一部を補助する制度等もありますので、喜茂別町への移住を検討される方がいらっしゃる場合は、右記までお問合せ下さい。



9/20

第41回教育長杯ゲートボール大会



ふれあい公園ゲートボール場において、第41回教育長杯ゲートボール大会が開催されました。

細田典男教育長ほそだ のりお並びに阿部昭司あべしやうじ

老人クラブ会長の始球式から始まった大会は、白熱した試合が多く会場は大いに盛り上がりました。試合結果は、双葉チームが見事2連覇を飾りました。大会終了後は、参加者同士が交流しスポーツの秋を満喫しました。

9/29

交通安全運動街頭啓発「旗の波」

郷の駅ホッときもべつ前で交通安全運動街頭啓発「旗の波」が行われ、約120名の町民の方が参加されました。開会式では、てらむらやまあき 寺村康明署長より「これから行楽シーズンとなりますが、交通事故がこれ以上増えることの無いよう、交通安全への協力をお願いします。」と挨拶されました。参加者は交通安全の黄色い手旗を持ち、国道230号線を走る車両に対してスピードダウンを心がけるよう啓発し、登校中の子どもたちにも交通安全を呼びかけました。



9/30
・10/1

2023 しりべし結愛フェア inきもべつ



郷の駅ホッときもべつ向かいの広場にて、「2023しりべし結愛フェア inきもべつ」が開催されました。会場内では後志管内の出店者から、サフォークジンギスカンな

どが販売されるとともに、町内の各団体からご当地グルメが販売され、来場者は秋の味覚を満喫していました。また、町内音楽サークル「こすもす」による演奏も行われ、会場に来た人は生演奏を楽しみました。

10/7

喜茂別小学校 学芸会

「みんなで心を合わせて、思い出に残る学芸会」をテーマに喜茂別小学校学芸会が開催され、各学年が劇や器楽演奏、ダンスなど、日頃の練習の成果を披露しました。4年生による「キセキの挑戦者 アスパラ物語」は、喜茂別のアスパラガスがどのように有名になったのか、総合の学習で調べた内容を劇にまとめ発表しました。



10/6

姿勢改善教室 ～正しい姿勢で見た目も身体も内側も若々しく～



農村環境改善センターにて姿勢改善教室が開催されました。当日は14名が参加し、理想的な姿勢や体幹機能の重要性を学んだ後、コグニサイズ(体

を使った脳トレ)を体験しました。参加者からは「普段使わない場所を動かしたり、頭を使った運動は良い刺激になる」と語り、終始和やかな雰囲気でした。

10/7
～11

伊予銀行杯 第19回全日本女子硬式野球選手権大会



愛媛県松山市で行われた伊予銀行杯 第19回全日本女子硬式野球大会にホーネット・レディースが出場しました。結果は、3回戦で埼玉県の平成国際大学に敗れたものの、ベスト8という結果を収めました。1回戦の福井県の福井工業大学付属福井高校戦では、先発かとうみくした加藤美空選手が7回を0点で抑える好投を見せ、3-0で勝利しました。

令和5年度喜茂別町 敬老会実施報告



令和5年度喜茂別町敬老会を7地区(うち開催したのは6地区)に開催場所を区割りして開催致しました。

今年度につきましても、新型コロナウイルス感染症対策を最優先させていただき、飲食やご歓談の時間をもうけることができませんでした。

そのような状況の中でも、皆さまのご理解を賜り、無事に敬老会を開催できましたことを心より感謝申し上げます。

今後の敬老会事業については、今年度の反省等を踏まえ、さらに検討を行ってまいります。

また1年、元気にお過ごしください。



鈴川基幹集落センター



ふれあい福祉センター



農村環境改善センター

- 開催日/令和5年9月11日(月)~14日(木)
- 出席者数/68名

ひとり暮らし等除雪サービス事業



ひとり暮らし高齢者、高齢者夫婦世帯などの方で、日常生活上、援助が必要な方に対し、冬期間の除雪サービスを行います。

サービス内容

- ①大雪や屋根から落ちた雪など、家の周囲の排雪
- ②健康状態及び安否の確認

対象

おおむね65歳以上の高齢者で、なおかつ、下記のような冬期間の除雪労力の確保が困難な方

- ①ひとり暮らし世帯 ②夫婦世帯
- ③身体に障がいのある方

料金

無料

特記事項

巡回にて除雪を行いますので、時間や日にちなど、細かいご要望には必ずしもお応えできるものではありませんので、ご了承ください。

お問い合わせ先 元気応援課福祉係 電話(IP):55-5101

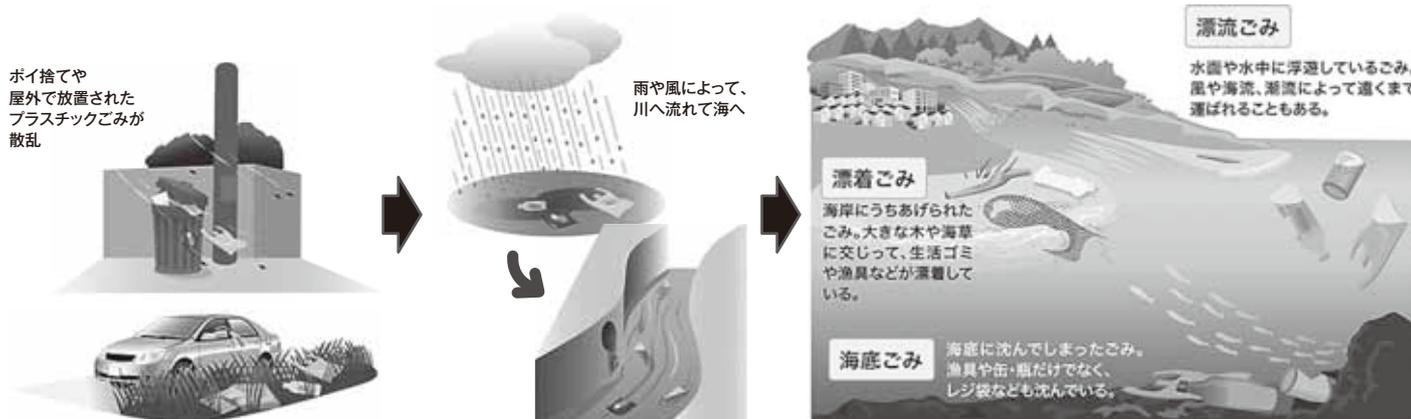
プラスチック・スマートって？

環境省は世界的なプラスチック問題解決に向けて2018年に「プラスチックとの賢い付き合い方」を主軸とした取り組みを進めることを発表しており、プラスチック・スマートとはその活動の一環です。

現在、プラスチックごみは世界中で問題となっており、焼却による大気汚染や海に流れ込むことによる海洋汚染と様々な影響を与えています。特に、海に流れ込むプラスチックごみ(海洋プラスチックごみ)は世界中で年間約800万トンになり、このまま推移すると2050年までに海洋プラスチックごみが魚の重量を超えると言われていいます。

海洋プラスチックごみは私たちには関係ない？

それでは、海に面していない喜茂別町には関係はないのでしょうか？実は、海に流れ込むごみの8割は「街から出たごみ」と言われています。道端やごみ箱からあふれている光景を見たことがあるのではないのでしょうか。その散乱してしまっているごみが雨や風によって排水溝などを通して川に流れ、最終的に海に行きつきます。また、海洋プラスチックごみは、回収が難しい場所や何度も大量に同じ場所に流れ着いたり、回収しても汚れていてリサイクルがしにくいなど回収や処理、対策が立てづらいという問題点があります。



出典：政府広報オンライン (<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201905/1.html>)を加工して作成

私たちができること



出典：政府広報オンライン (<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201905/1.html>)

2050年には海洋プラスチックごみが魚の重量よりも増える可能性がある中で、この未来を迎えないために私たちには何ができるのでしょうか。まずは身近なプラスチックごみを減らすことが海洋プラスチックごみを減らすことにつながります。

皆さんも一度は耳にしたことがある「**3R**」(Reduce ^{リデュース} Reues ^{リユース} Recycle ^{リサイクル})は取り組みやすい活動ではないでしょうか。日本は2018年6月に発表された国連環境計画の報告書による人口一人あたりのプラスチックごみの廃棄量は世界第2位です。私たち一人ひとりが毎日の生活の中でプラスチックの3Rを意識して、プラスチックを賢く利用することでプラスチックごみを減らしていきましょう。

【お問い合わせ先】 まちづくり振興課ゼロカーボン推進係 TEL:33-2211

お知らせ

介護保険料(普通徴収) 納入期限のお知らせ

令和5年11月の介護保険料(普通徴収)第5期の納入期限は次のとおりです。

※年金から徴収されている方(特別徴収)に関しては該当しません。

忘れずに納めましょう！

■納入期限 11月27日(月)

■お問い合わせ先

元気応援課福祉係

電話・IP番号 555-5101

後志広域連合介護保険課

電話 555-8013

「成人式」の開催について

令和6年喜茂別町成人式を開催いたします。

対象となるのは、平成15年(2003年)4月2日から平成16年(2004年)4月1日に生まれた方です。

なお、町内在住または、喜茂別中学校に卒業時まで在籍していた方には後日案内状を送付いたしますので、期日までに欠のご連絡をお願いいたします。

■開催期日 令和6年1月7日(日)

午後1時30分より

■開催場所

喜茂別町農村環境改善センター

■お問い合わせ先

喜茂別町教育委員会教育振興係

電話 333-2203

一定面積以上の土地取引には届出が必要です

土地の売買・賃借・交換・営業譲渡など、一定面積以上の土地取引に係る契約をした場合には、国土利用計画法の規定により、その土地が所在する市町村に届出が必要となります。

■届出の対象となる面積(喜茂別町の場合)
・都市計画区域外 1万㎡以上

■届出者 土地の権利取得者(買主等)

■届出期限 契約締結日から2週間以内

※提出期限を過ぎた場合でも、届出書の提出にご協力願います。

■提出書類 各3部

・土地売買等届出書

・土地売買等契約書の写し

・土地の位置を明らかにした縮尺5万分の1以上の地形図

・土地及びその付近の状況を明らかにした5千分の1以上の図面

・土地の形状を明らかにした図面

・委任状(代理人が届出する場合)

■罰則

届出をしないと法律で罰せられることがあります。

■届出・お問い合わせ先

まちづくり振興課まちづくり振興係

電話 333-2211

IP番号 333-5005

※提出様式や制度の詳細は北海道のホームページをご覧ください。

ホームページをご覧ください。



後志広域連合職員募集のお知らせ

後志広域連合は後志管内16町村で税の滞納整理、国民健康保険事業、介護保険事業などの事務を共同で行う特別地方公共団体です(事務所所在地/倶知安町)。

この度、令和6年4月より介護保険課に従事する職員の募集をします。

■受験資格

保健師又は社会福祉士の資格を有すること。介護保険業務の経験を有していることが望ましい。

■申込締切 11月30日(木)まで

■試験

一次試験(書類選考)、二次試験(面接)

■お問い合わせ先

後志広域連合総務課

電話 0136-55-8010

「ほくとくん防犯メール」を活用しよう

「ほくとくん防犯メール」は、犯罪から身を守るために必要な「子供被害情報」、「犯罪発生・防犯対策情報」及び「お知らせ情報」を希望者のパソコン、携帯電話などにメールで配信するサービスです。

住民の皆様が安全・安心な生活を送れるように積極的な登録を検討して下さい。

倶知安警察署や北海道警察本部のホームページから登録可能です。

なお、登録に関しては、利用上の注意をよく確認してください。

■お問い合わせ先

倶知安警察署

電話 220-110

喜茂別町在所

電話 333-2002

住民課税務室 税務係より

令和5年分 所得税等の 確定申告について

【町の申告会場で受け付けるもの】

- 「白色」の農業・営業・不動産等事業所得
- 譲渡所得※内容により税務署で申告いただく場合があります。
- 所得税の還付申告 住民税申告

各事業所得にかかる「青色」申告については、倶知安税務署での申告またはスマートフォン・パソコン等からの電子申告により申告していただくこととなります。

申告により各種控除(配偶者・扶養・障害等)を活用する方は、忘れずに受付期間において申告してください。

今回の申告に関する受付方法など、詳細については今後町内・地区回覧やIPなどでお知らせいたしますので、必ずご確認願います。

受付期間

令和6年2月16日(金)～
3月15日(金)

【お問い合わせ先】 住民課税務室税務係
電話:33-2211 IP:33-5011



すくすく
1歳です



かわ 河田 せんり
千凛くん



令和4年11月11日生まれ

お誕生日おめでとう。
この1年日々
成長してくれて
ありがとう。
凛々しく逞しく
元気に育ってね。

お父さん ▶ 和顕さん
お母さん ▶ ちさとさん

まちのカレンダー

救急当番病院 農 農村環境改善センター 鈴川集落センター ふれあい福祉センター
町立クリニック 笑み〜な 健康増進センター 喜茂別町武道館 ちびっこ広場
俱知安文化センター 岩内町高台84-3 ☎0135-62-8373 留産管理棟
町民公園パークゴルフ場 中喜茂別中学校 喜茂別小学校 鈴川小学校
喜茂別保育所 双葉克雪管理センター 町民プール 図書室 町営球場

11月

1	水	中 開校記念日 農 第74回喜茂別町文化祭
2	木	農 第74回喜茂別町文化祭
3	祝	文化の日 農 第74回喜茂別町文化祭
4	土	農 第74回喜茂別町文化祭
5	日	農 第74回喜茂別町文化祭(芸能発表)
6	月	
7	火	
8	水	岩 しりべし弁護士相談(事前予約)
9	木	
10	金	
11	土	
12	日	
13	月	
14	火	運 運転免許法定更新時講習
15	水	岩 しりべし弁護士相談(事前予約)
16	木	
17	金	
18	土	保 発表会
19	日	
20	月	
21	火	運 運転免許法定更新時講習
22	水	岩 しりべし弁護士相談(事前予約)
23	祝	勤労感謝の日
24	金	
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	運 運転免許法定更新時講習
29	水	岩 しりべし弁護士相談(事前予約)
30	木	

12月

1	金
2	土
3	日
4	月
5	火

土 日 祝 救急当番病院 俱知安厚生病院

今月の
〇〇な日

11月23日(木)「勤労感謝の日」

農業国家だった日本は、古くから神々に五穀の収穫を祝う風習があり天皇が行う儀式だったそう。しかし戦後の政策によって天皇行事から切り離され、改められたのが「勤労感謝の日」。農業生産者に感謝し食欲の秋を味わいましょう!

四季の歌

喜茂別短歌会

マーガレット隣の庭から我が庭に
風が運ぶか虫の仕業か

国語辞典拡大鏡をそばにおき
短歌つくりし母を思ひ出す

籠いっぱい秋の花活け持ち来たる
娘等と語りぬ敬老の日に

亡き姑の好きな花だった花芽付き
天国で見るの楽しみに

短歌を楽しむ仲間を
募集中!

一緒に短歌を詠んだり、鑑賞
しませんか?
初めての方もお気軽にご連
絡ください。
(桑原・電話33・2079)

村上正彦

桑原博美

佐藤百合子

三間恵子

人口と世帯

令和5年
9月末現在



前月比 / 前年比

人口 男 961人 (+3人)(-25人)
女 954人 (-2人)(-23人)
合計1,915人 (+1人)(-48人)

世帯数 1,113世帯 (±0戸)(-28戸)

ほか外国人 80人 (+1人)(+23人)

広報 きもづ

2023年11月
vol.869

〔発行〕 喜茂別町
電話:0136-33-2211(代) FAX:0136-33-3577
URL:https://www.town.kimobetsu.hokkaido.jp
E-MAIL:info@town.kimobetsu.lg.jp
住所:喜茂別町字喜茂別123番地

〔編集〕 一般社団法人 きもづ観光協会
電話:0136-33-3122
FAX:0136-55-8775

住所:虻田郡喜茂別町字喜茂別293番地1
地域振興センターみらい

広報きもづについて、お気軽にお問い合わせ下さい。